

学年だより



釜ヶ淵小学校 第6学年
令和2年11月5日

赤とんぼが、グラウンドを飛び回り一層秋を感じる季節になりました。

芸術の秋、6年生は、「レキシウォーズ」の劇をしました。発表会前日、Iさんは、スピーチで「5年間の学習発表会で1番心に残っているのは無限大マットだから、それを越える発表にしたい」と話しました。過去に心に残った発表について他の子供たちにも尋ねると、それぞれ違いましたが、各々が毎年自分の目標に向かって頑張っていたことを感じました。

発表会終了後には、充実した子供たちの表情を見ることができました。なにより無事に8人そろって発表することができたことで、また一つ、忘れられない思い出が増えたことをうれしく思います。

11月も、校内持久走記録会や釜ヶ淵ピーコーズとの合同演奏会等の行事があります。スポーツに学習に芸術にと、実りの多い月にしたいです。

1人でも輝く6年生

10月24日学習発表会がありました。充実した顔で発表を終えた子供たちからは、「楽しかった」「今までで1番良かった」「みんなすごかった」などと聞こえてきました。きっと自分自身が、輝こうとしたことで、全員が大きな力を発揮したのだと思います。今日は、学習発表会を終えて書いた作文の1部を紹介します。



今日の学習発表会は、お母さんたちから見るのは、本当に最後なので、8人そろって発表できたことが嬉しかったです。私にとって、この6年間で、1番印象に残りました。だから、お母さんたちに6年生の絆が伝わったかなと、思うと嬉しくなりました。本当に楽しかったです。

H・Y



ぼくの目標は、「届ける」ことでした。ステージに立った時、6年生の仲間のすごさを際立てられるように声を響かせました。それしか考えていませんでした。みんなは、役やネタを自分の物にしていて、いつも以上に生き生きとしていました。少しでも歴史の大切さを届けられたと思います。

Y・S



プログラミング体験をしたよ

10月30日プログラミング学習をしました。昨年と同様に、ドローンをフラフープの中に通してから、ゴール地点に着地させる動きをプログラミングしました。松嶋建設の松嶋さんに建設現場でドローンを使うことで、安全に測量できることを教えていただきました。子供たちは、川の面積を測るわけではないですが、体育館の中に設けられた目標に向かって試行錯誤する様子が見られました。



Aチームは、「頭脳派」。誤差をふまえてプログラミングを増やしたり、ドローンを置く人を固定して同じ位置からスタートさせたりするなど、ずれを少しでも減らす工夫を多くして、より正確なプログラミングを実現していました。

Bチームは、「感覚派」。このチームは、左右上下の指示だけではなく、斜めという指示をドローンに与えていました。固定観念にとらわれず、様々な方法を生み出して、より簡単なプログラミングを実現していました。

Cチームは、「慎重派」。ドローンが着地するまでの距離や高さをその都度計測し、計算して誤差を求め、確実にゴール地点に着地できるようにしていました。

目的は同じでも、方法が全く違うところに彼らのよさを感じました。一人一人が個性を生かしながら、仲間と協力できたひと時でした。



We enjoyed the English class!!

毎週木曜日、金曜日は、外国語の学習があります。子供たちは、この時間をとても楽しみにしています。最近では、日にちや、天気、体の調子やあいさつなど、自然に言えるようになりました。毎週繰り返して活動することで、英語が身に付いてきたようです。新しい単語が入ると、早く覚えられるようにALTの発音を聞いて読み仮名をふる姿も見られます。



小学校での外国語科の学習を十分に楽しみ中学の英語科の学習の土台を作り出したいです。